

ずっと好きな人が
ポイ捨てしていた。
百年の恋も冷めた。

私たちは環境と
どう向き合って
いけばいいか？
清水先生、
教えてください。

廃棄物問題を考えるために、
こんな実験を行っています。
まず、空のペットボトルを
教室内でポイ捨てしてもらう。

指名された人は散乱したペットボトルを拾い、
捨てた人はその光景をじっと見つめていなくては
なりません。実験後、参加者に話を聞くと、捨てた人は
ゴミ箱以外に捨てたことに罪悪感をおぼえ、拾わされた人は
理不尽さを感じます。このことからわかるのは、
ゴミの不法投棄を抑止しているのも、不法投棄された
ゴミの回収を進めているのも、社会的規範や人の倫理観、
ボランティア精神にあるという現状です。しかし、
それだけで本当に良いのか。よりよい制度設計はできないか。
誰がどれくらいコストを負担するべきか。
そのように環境保全のあり方について
経済学の視点から考える。それが環境経済学です。
地球温暖化、大気汚染、水の問題などテーマは無数。
人が環境とどう向き合っていくかを考える
学問と言ってもいいかもしれません。



経済学科
准教授 清水雅貴



オープンキャンパス <11:00~16:00>
7/17(日)・31(日)・8/7(日)

8/7(日) 大手予備校
同時開催 講師による選抜
8/19(金) AO・推薦制
入試相談会

9月AO入試出願開始!
8/1(月)~8/30(火) 9/4(日)

現代人間学部
表現学部
経済経営学部

小田急線鶴川駅から
徒歩約15分
<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる
和光大学